

# リニューアル工法

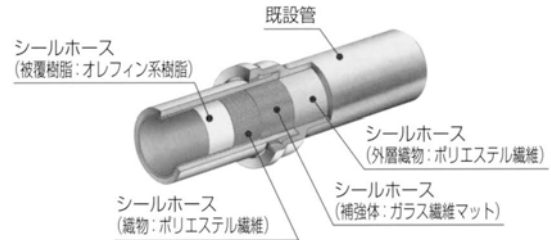
## パルテムHL工法（管更生工法）

パルテムHL工法は、錆こぶなどができ、赤水の発生や流量低下した老朽管を、クリーニングした後、接着剤を塗布したシールホースを管内に反転挿入、圧着し、老朽管を補強保護するリニューアル工法です。

### 特長

- シールホースと接着剤で反転挿入した老朽管は、管路の耐久性が向上します。また、シールホースは地盤変動、地震等による管路の動きに追従し、耐震性も大幅に向上します。
- シールホースにより管内面が保護され、錆の発生を防止し、継手部よりの漏水も防止します。
- 薄くて強靱なシームレスのシールホースは曲管を含む複雑な形状の管路にも対応します。また、発進坑と到達坑の二カ所のピットを掘削するだけで、ロングスパンを短時間で施工できます。
- シールホースは、日本水道協会規格に合格したものを使用、水質的に無害で安全です。

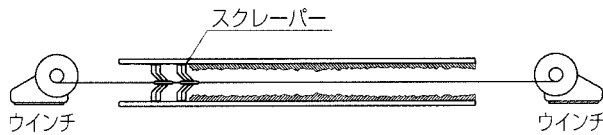
- 工場で品質管理された高品質なシールホースをライニングしますので、確実な施工ができ、寿命は半永久的です。



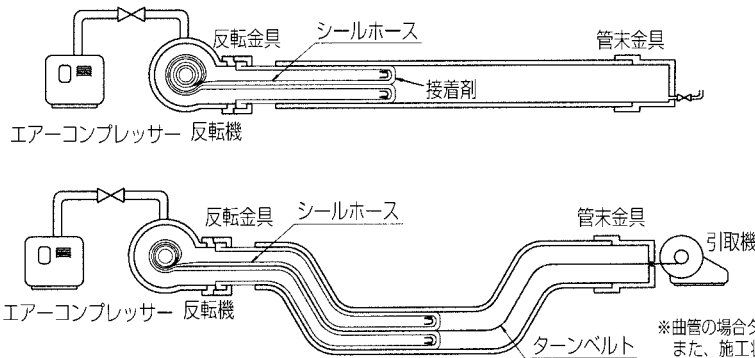
種類	適用口径	特長
WHM	200～1000mm	ガラス繊維マットの採用により、1.0MPa以上の耐圧性能を持つ自立管。
WHX	150～ 600mm	ガラス繊維糸の補強により0.75MPa対応の自立管。
WHT	100～ 600mm	ポリエステル繊維糸の補強層により、既設管の強度を期待する0.75MPa以下対応の保形管。
WRN	200～1000mm	補強体のポリエステル不織布を設計条件により厚みの検討をする0.75MPa以下対応の自立管。

### 工事方法

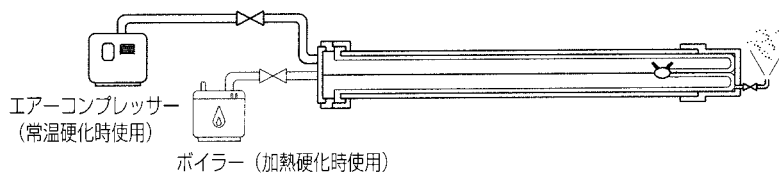
- ①管内のクリーニング後、残留水を排除して乾燥させます。



- ②シールホース内に接着剤を均一に塗布し、車載された反転機内に巻取ります。
- ③反転機内にエアを送り込み、管内に順次反転挿入し、管内面に圧着します。



- ④反転挿入終了後、接着剤を硬化養生します。



- ⑤硬化終了後、端のシールホースを切断し、管端リング（ステンレス製）で固定保持します。